

戦争などテーマ26作品

9月 あいち国際女性映画祭

国内外の女性監督の場が開かれる。国連広報センターとも初めて国際女性映画祭2014が九月三〜七日、名古屋市東区上野杉町のウィルあいちを主催

・地域計二十六作品

が上映される。

国内で唯一の国際女性映画祭。あいち男女共同参画財団などが主催し、十九回目。

今村彩子監督の「架け橋 きこえなかつた3・11」は、同監督が被災地で出会った若者たちの現状を伝える。新進の女性監督二人による高校生の青春ドラマのオムニバス「放課後ロスト」もある。

注目作品の一つは、米国人監督ギニ・レテイカーさんが内戦が続いていた西アフリカ・リベリアで撮影したドキュメンタリー「悪魔よ地獄へ帰れ」。白い布をまとって非戦を訴え、二〇一一年にノーベル平和賞を受賞した女性リーマ・ボウイさんらの運動を追った。

十日、ウィルあいちで会見した財団の佐藤祈美栄理事長は「幅広い映画祭になった」と語り、来場を呼び掛けた。

国連広報センターが同作品を推薦し、作品とは別に、性的暴力を受ける女性の現状など国連が所蔵するショートフィルムも上映する。

上映日程の詳細は映画祭のホームページで。作品別のチケット前売り券（一枚九百円、当日千五百円）は今月十八日〜九月二日に販売。五枚以上購入すれば一枚七百円になるチケット引換券もある。



白い布を着て平和を訴えるリベリアの女性たちの姿を追ったドキュメンタリー「悪魔よ地獄へ帰れ」の場面（事務局提供）

問い合わせは事務局
☎052(962)2520へ。

(山本真嗣)